

町田市議会・志政クラブ報告

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード
でブログ閲覧



インターン生を同行

第

市長の施政方針について

今期の第 1 回定例市議会で、市長は今年の「施政方針」を発表しました。この「施政方針」とは、首相の「所信表明演説」に相当するものです。市政の中長期の見通しや基本的な方針、及び今年度の予算案の特徴や主要な施策に関しての説明が盛り込まれています。

その冒頭では、景気の低迷、人口減少社会への移行、地球温暖化の進行をあげています。また、その対応では「市民協働」という概念が繰り返し挙げられています。

私なりのその読み込みにおいて一番注目したことは、交通問題への考えでした。市内交通の向上に関して、バス（連節バスやコミュニティバス）の拡大は提案していますが、鉄道・モノレールの路線延伸には一切触れていないのが特徴でした。「鉄道路線の延伸」に議会や議員の関心は高いので、これから大きな議論になっていくことでしょう。

また、各市民センターなどの公共施設や公民館の利用、あるいは市民病院の諸費用に関しての施策では、利用料金の大幅値上げや有料化が今議会に提出されています。

そうした住民負担の大幅増加を見込む条例案を提出しながら、市長の「施政方針」には料金値上げやそれを設定する施策について一言も触れていませんでした。

もし、議会が財政の収支上の観点からのみ見て、この条例案を丸呑みして可決すると、「値上げと有料化」は議会が決定した！と市の公報でさかんに PR されるでしょう。まさに、市議会の見識が問われる時なのではなかろうかと自分に問うところです。

震災発生と町田市の施策

本来の記事では、市長の市政方針に関する考えを記述していました。しかし、大震災の被災地への救済支援と、町田市内で発生している問題の対策と対応が市政の課題になっていると思い、記事を更新しました。

議会は、23 年度予算の審議と結論を出すことを優先課題にして進めています。3 月 29 日が最終日で、連日会議の日程です。

震災では、町田市内でも犠牲者が発生し、建物にも損傷がありました。市の施設では直ぐに応急修理が行われました。議会の災害対策委員会が報告を受け、住民の皆さんの要望に基づく提案を行っています。

今後の課題では、東京電力の計画停電（＝強制的な停電）による行政サービスの低下をいかに減少させるかということが大きな課題となっています。自家発電装置を持つ施設では省エネで平常運営を目指し、東電にたよる施設では、サービス低下の軽減を図る手段を講じています。町田市と市議会は、それぞれの HP で情報提供を行っています。*なお、東電は計画停電の予定を町田市に知らせてこなく、町田市が自主的に情報入手を図ったとのことでした。

鉄道運行では都心部優先となっている現状に関して、個人・議会・行政の全レベルでその改善を求めています。多くの混乱が発生しており、通勤者や通学者を始め、鉄道利用者の日常生活が損なわれる被害の解決が出来ていないでいます。これでは、社会経済が崩壊するので、その改善を要望していきます。東電の福島原発事故に関して、町田市でも放射能測定が独自に必要と考えます。

★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> 発見動画チャンネル <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ (市議会議員)

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード
でブログ記事



双方向の情報交流

原発事故と放射能測定について

3月11日、東北関東大震災が発生し、あわせて福島原発で原子炉と関連施設に重大事故が起きています。爆発事故はもとより、放射能被害が現実の問題になっています。

現地から避難が遅くなった人々に被爆が生じており、その対応（検査と治療）が大きな課題になってきました。さらに、当地で事故対策の復旧に当たっておられる関係者の皆さんのことが気になります。事故発表を東電任せにしている状況では、対策が後手になっているばかりです。ここは、行政と専門家が情報公開の部門で、直接指揮を執ることが欠かせないでしょう。

これからますます、放射能拡散が起きることが予想されることで、町田市でも独自にその観測をする態勢が必要と思ひ、保健福祉常任委員会などでもそれを求めています。



(研修生 佐藤裕介さんが市議会本会議の一般質問を傍聴：志政クラブの部屋に立ち寄り)

インターン体験記：佐藤裕介

先日、私はインターンシップの一環として町田市スポーツ文化大賞のイベントを見学させて頂きました。当初はそのような賞を取るということ自体をただ単純に「すごいな」としか考えていませんでした。しかし今回の体験から物事に対する視野が大きく広がったと思います。

例えば、今回の様なイベントは当然議員さんや各業界の人が参加してもちろん司会やスタッフもいる。またその資金は誰が出しているのかということなど少し客観的に見る事が出来る様になったと思います。その後は様々な年齢層や業種の方々とお話をする機会を頂き、それぞれの人が一生懸命に会社のことあるいは国のことまでもっとこうすればいいんじゃないか。こうすれば組織として活躍して、いい意味で刺激しあえるのではないかと自分の考えを主張していました。

大人の世界は相手の話をよく聞きつつ、やはりこうあるべきだと自分のオピニオンを持つ事が大切なんだ、ということを実感することが出来、間違いなく将来の糧になったと思う次第です。(記：第27期研修生

佐藤裕介 明治学院大学心理学部

教育発達学科1年)

東北関東大震災について

3月11日、未曾有の大震災が発生し、多大な被害が起きています。亡くなられた人には衷心よりお悔やみ申し上げます。また、被災者の皆様にもお見舞い申し上げます。

掲載記事、あるいはご関心事は、下記の FAX かもしくはメールまでご送信先ください。

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726